

産廃特措法が期限を迎える

豊島本来の豊かな自然を取り戻すために

不法投棄事件に関する国の財政支援措置を規定した法律「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法（産廃特措法）」が、3月31日に期限を迎えました。

戦後最大級の産業廃棄物不法投棄事件が発生した香川県豊島において、浄化作業により汚染されていた地下水の水質が「排出基準」（工場排水を川や海に流してもよいとされる基準）に到達したのは、2021年度になってからのことです。産業廃棄物の不法投棄が始まってから約40年、処理開始から約20年の歳月が経過していました。そして地下水を「環境基準」（人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましいとされる基準）に到達させるまでには、さらに10年以上かかると推計されています。

豊島が本来の自然環境を取り戻すにはま

だ長い時間が必要ですが、産廃特措法の終了によって「豊島事件」は一つの節目を迎えたと言えます。NGPはこの節目にあたり、豊島を元の豊かな島に戻すという決意を込めて、第13回目となる環境保全・再生活動を行いました。

今回、NGPの中でSDGsの取り組みを波及させ、持続可能な社会の実現に向けて活動の輪を広げることを目的として、組合員会社のスタッフに対して幅広く活動への参加を呼びかけました。これまで定期的に活動報告を行い、組織として取り組む意義と目的を伝えていたため、過去最多となる組合員13社から総勢28名が参加しました。

今回の活動では、「岡山大学との産学連携による植生回復活動」、「柚の浜荒廃地の整備」、「柚の浜オリーブ植樹場所の雑草除去」、「海岸漂着ゴミ回収活動」、「不法投棄現場見学」を行いました。

岡山大学との産学連携による植生回復活動では、岡山大学が豊島の植生回復について研究している区画や豊島小中学校がツツジを植樹した場所において、植物の成長を阻害する雑草を除去しました。一方で、島に元々自生している「ヌルデ」や「アカメガシワ」などもあるため、誤ってそれらを除去しないようにすべて手作業で行いました。岡山大学の嶋一徹教授は「鳥が種を運んで来て、色々な植物が広がり、その場所の条件に合った植物だけが残る。それが自然です。私たちができることは雑草を刈り、小さい実生（種から発芽した植物）が自力で大きくなる環境を作ってあげるだけです」と話しています。

豊島の植生や自然環境が元にもどるためには、これからさらに長い時間が必要となります。NGPは豊島が本来の姿を取り戻すまで、環境再生活動を継続していきます。

豊島環境再生の道のり



1991年：不法投棄された産業廃棄物が残っていた



2017年：産業廃棄物は撤去されたが、水質汚染が著しい状態だった



現在（2023年）：水質は排出基準に到達し、環境基準の達成を目指して浄化作業が進められている。豊島が本来の姿を取り戻すまでには、まだ長い時間が必要である



環境保全・再生活動の様子。雑草を手作業で除去



海岸漂着ゴミの回収



「豊島のこころ資料館」で、豊島事件の歴史を学ぶ

NGP、中学生のSDGs学習を支援

資源循環と廃棄物抑制に向けた自動車リサイクル業界の取り組みを紹介

NGPは教育支援活動の一貫として、SDGsについて学習することを目的とした中学生の企業訪問を受け入れました。

5月17日に仙台市立第二中学校、18日に四日市市立西朝明中学校、25日に東浦町立東浦中学校の生徒達が修学旅行の中でNGP本部を訪れ、NGP及び自動車リサイクル業界のSDGsに向けた取り組みについて学習しています。

訪問学習ではまず、自動車リサイクルの仕組みやリサイクル事業者の仕事内容を紹介するとともに、部品としてのリユース、素材としてのリサイクルによって、資源循環と廃棄物抑制に貢献している業界であることを説明しました。そして、自動車リサイクル法制定の契機となった「豊島事件」の概要と現状を解説した上で、NGPのSDGs宣言と2030年の目標を紹介しまし

た。NGPはSDGs宣言の内容を決定する際に、「主要なビジネスと関係が深く、持続可能な社会の実現に向けて課題解決しなければならない事案に取り組むこと」、「持続可能な社会の実現を目指すために未来を担う子どもたちに必要とされる学習・教育活動に携わること」が重要であると考えました。その考えに基づいてSDGs宣言と2030年の目標を設定するとともに、使用済み自動車の適正処理を通じて持続可能な社会への貢献を実現するNGP SDGsモデルを構築しています。

訪問学習では、これらのSDGsに対するNGPの考えや思いを伝えるとともに、その具体的な活動実績として、香川県豊島の環境保全・再生活動、使用済み自動車から回収した取扱説明書から「環境教育ノー

ト」や「廃車王 炭エコクック」を製作するアップサイクルプロジェクト、その環境教育ノートを用いた子どもたちへの教育支援などの各種取り組みを紹介しました。

また、リサイクルにおける分別の大切さを学んでもらうため、オルタネーターの分解体験を行いました。中学生はこの体験を通じて、日常生活においても正しい分別でリサイクルに協力することで、SDGsに貢献できるということを再認識していました。そして最後にNGPから、身の回りのできることからSDGsに取り組むことが大切であることを呼びかけて、訪問学習は終了しました。

NGPはこれからも、未来を担う子どもたちに向けて、SDGsやカーボンニュートラルの重要性を伝え、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



NGP本部を訪れて、SDGsについて学ぶ中学生達

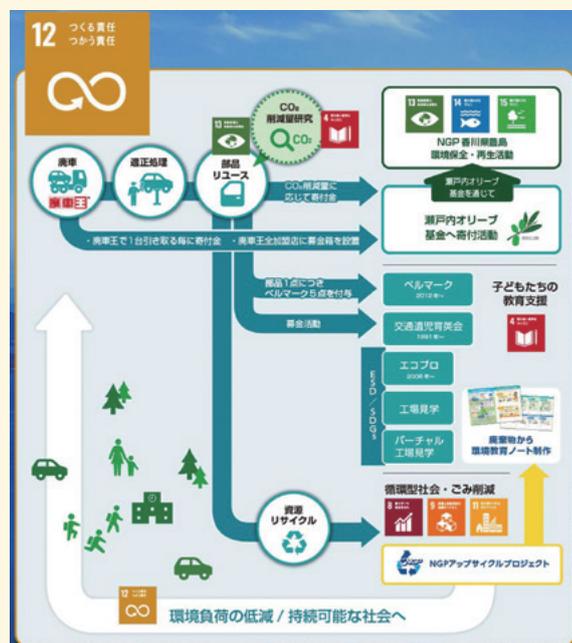


オルタネーターの分解体験を通じて、分別の重要性を学ぶ



実際のリサイクルパーツや再資源化した各種素材を展示し、自動車リサイクル事業者の事業内容を説明

NGPのSDGs宣言と目標



NGP SDGsモデル

廃車王サービス品質向上研修会を初開催

業界No.1のサービス提供と強いブランドの確立を目指して

NGP協同組合は5月16日、一般カーオーナー向け廃車買い取りサービス「廃車王」のサービス品質のさらなる向上を目的とした「廃車王サービス品質向上研修会」を初開催しました。

Web会議システムを利用して2回に分けて行われた研修会には、廃車王全加盟店の責任者が参加しました。廃車王委員会の岸本恭秀委員長と中島邦晃副委員長が司会進行を務め、電話応対から買い取り価格の提示方法、車両引き取り時の注意点、廃車後の連絡方法などの一連のサービスの中で「お客様に対してどうあるべきか」の認識を共有しました。

また、Web研修は講師が一方向的に話を進める“一方通行”になってしまうことが多い傾向にあるため、今回の研修ではWeb会議システムのアンケート機能を活用することで参加型Web研修となるように努めました。NGPのWeb研修として初めての

試みでしたが、リアルタイムでアンケートを行い回答結果を即時に集計・公開し、参加者に意見を求めることで、議論を深めることができました。

研修会の冒頭、岸本委員長は「TVCMの影響もあり、一般カーオーナーの廃車王に対する認知は高まってきています。しかし、全国組織として唯一無二の強いブランドとなるためには、さらなる改善をしなければなりません。NGPブランドの自動車リサイクル部品が業界に認知されているのは、NGPグループが長きにわたり、商品及び顧客対応の品質を改善し続けてきたからです。廃車王も同じように、廃車王ブランドを確立する必要があります。全加盟店の気持ちを合わせて『廃車王といえば廃車王』と全国で認知され、強いブランドが確立されることを切に願います」と、廃車王ブランドを確立するため、全加盟店にサービス品質のさらなる向上を呼びかけまし

た。

廃車王は、「廃車王に頼んでよかった」とお客様に実感していただけるように、サービス品質向上に向けた取り組みを継続してまいります。



廃車王全加盟店が参加



リアルタイムでアンケートを実施

持続可能な社会の実現に向けて

NGP 東海支部、環境貢献書の提供を通じて保険代理店のSDGs取り組みを支援

NGP東海支部（藤村博志理事）は、あいおいニッセイ同和損害保険(株)（AD社）と連携し、SDGsに向けた各種事業に取り組んでおり、その事業の一環としてAD社の代理店に対し、使用済み自動車引き取りへの協力を提案しています。

AD社の代理店で構成される「あいおいニッセイ同和全国プロ会」のSDGs宣言では、「各代理店の事業活動から発生する環境負荷の削減に取り組む」ことを掲げており、その具体的な取り組みとして「事業活動におけるCO₂の排出抑制」を推進して

います。各代理店が保有する使用済み自動車をNGPが引き取り、リサイクルすることで、CO₂排出量削減に貢献することができます。さらにNGPは引き取った車両ごとに、部品をリサイクルしたことによるCO₂の削減量、再資源化した各種素材の重量を算出し、環境貢献書として提供しています。保険代理店各社は環境貢献書を、SDGsの取り組み及び進捗の報告などに活用することができます。

4月20日には、AD社との連携事業を推進してきたNGP東海事業部の奥村昭夫事



オフィス養老



洞戸保険サービス

業部長が、AD社代理店である(株)オフィス養老（岐阜県養老郡）と洞戸保険サービス(株)（岐阜県郡上市）を訪問し、環境貢献書を贈呈しました。

NGPは今後も各種活動を通じて、ステークホルダーの皆様と共に、カーボンニュートラル、SDGsの実現を目指してまいります。

「NGP春の大感謝キャンペーン」 6月30日まで!

宝くじなどの賞品が抽選で当たる「NGP春の大感謝キャンペーン」を、6月30日まで開催しています。応募用紙は当組合Webサイト (<https://www.ngp.gr.jp/campaign/>) からダウンロードすることが可能です。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。



NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和5年4月:

1,923t

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）115品目を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和5年4月:

0.4t

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

“人”を大切にしている経営姿勢が評価される

(株)ナプロアース、 第13回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞で 審査委員会特別賞を受賞

NGP組合員の(株)ナプロアース(本社＝福島県伊達市、池本篤社長)はこのほど、第13回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞で、審査委員会特別賞を受賞しました。

同賞は、「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞実行委員会、法政大学大学院中小企業研究所、人を大切にしている経営学会が主催するもので、従業員とその家族、外注先・仕入先、顧客、地域社会、株主などの“人”を幸せにする経営をしている企業を増やしたい、という思いから設立された顕彰制度です。(株)ナプロ

アースは、「限られた資源の有効活用や環境保護活動を業界の垣根を越え、専門家や行政とも連携しながら取り組んでいる」こと、「独自の評価制度や地域の人々にも参加可能なオープンセミナー、小中学生の会社見学、社員表彰、クラブ活動などを積極的に実施」していること、「人材育成に注力し、漫画や映像を使った動機付けを実施している」ことなどが評価され、同賞の受賞にいたりしました。

今回の受賞を受けて、相浦光二副社長は「今後も各種取り組みを継続・強化し、働きやすい社内環境の構築に努めて社員



3月17日の表彰式の様子(写真中央・池本篤社長)

定着率を向上させることで、会社の発展につなげていきたいと思っています」と、“人”を大切にしたい経営を通じて、会社のさらなる成長を目指す姿勢を示しました。

業界の取り組み及び社会的役割を広く社会へ発信

(有)西川商会がエアバッグからアップサイクルした ファッションアイテムが、G7広島サミットのIMCで展示される

NGP組合員である(有)西川商会(本社＝鳥取県鳥取市、西川正克社長)が鳥取県出身のファッションデザイナー・川西遼平氏と協力し、使用済み自動車から取り外したエアバッグから製作したファッションアイテムが、G7広島サミットの国際メディアセンター(IMC)で展示されました。

使用済み自動車のリサイクル率は非常に高い数字を誇りますが、エアバッグやシートはおもに助燃剤として利用されており、素材としての活用はほとんどされてきませんでした。(有)西川商会はそのエアバッグを生地として活用し、洋服などの製品にアップサイクルする取り組みを進めてきました。

同社の西川朋宏専務は「この展示をきっかけとして、多くの人に自動車リサイクル業界のことを知ってもらい、持続可能な社会の実現に貢献している業界であるという理解につながればうれしいです。



右から西川商会・西川正克社長、同・西川朋宏専務、ファッションデザイナー川西遼平氏

今後もこの活動を継続し、業界の取り組みや社会的役割を広く世の中に発信していきたいと考えています」と、今後も各種取り組みを通じて、業界の認知度向上に貢献していく考えを示しました。



展示会場の様子

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<https://www.ngp.co.jp/>



ZERO®
CO₂
PRINT



FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ(石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、再生可能エネルギー 100%で印刷。印刷会社が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出される CO₂ 全量をカーボンオフセット(相殺)した「CO₂ゼロ印刷」で印刷しています。